



国土交通省

国土交通省 千曲川河川事務所

Chikumagawa River Office
Hokuriku Regional Development Bureau
Ministry of Land
Infrastructure, Transport and Tourism

【取り扱い】 本資料の発表をもって解禁

記者発表資料
令和2年10月12日

令和元年東日本台風（台風第19号）から1年 緊急治水対策プロジェクトの現在の状況について

信濃川水系（千曲川・信濃川中流）では、令和元年東日本台風（台風第19号）における甚大な被害を受け、流域内の関係者が連携して令和2年1月31日に「信濃川水系緊急治水対策プロジェクト」のとりまとめを行いました。

関係機関は、同プロジェクトに基づき、令和9年度完了を目指し鋭意対策を進めておりますが、災害から1年となることから、現在までの取り組みや工事の進捗について、別紙のとおりお知らせします。

令和2年度は引き続き災害復旧工事の推進、堤防強化（粘り強い河川堤防構造など）の整備を進める他、洪水時の水位低下を行うため、立ヶ花及び戸狩狭窄部区間を含めた河道掘削を関係機関と調整を図りながら進めることとしています。

信濃川水系（千曲川）緊急治水対策プロジェクトの詳細はこちら

→ <https://chikuma-kinkyu.com/>

【配布先】

- ・長野市政記者クラブ
- ・長野県庁会見場
- ・長野市政記者会
- ・日本工業経済新聞社 長野支局

【問い合わせ先】

国土交通省北陸地方整備局
千曲川河川事務所 026(227)7611
副所長 吉田 俊康（よしだとしやす）



千曲川河川事務所 フェイスブック

検索

クリック

千曲川河川事務所

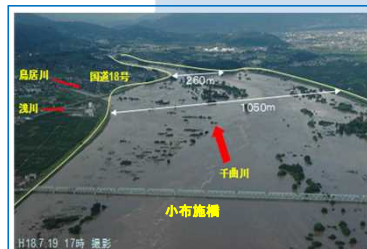
検索

クリック

<http://www.hrr.mlit.go.jp/chikuma/>



といった河川におけるハード対策をフル動員し、各管理者が連携・調整しながら、段階的かつ緊急的に対策を講じる。



立ヶ花狭窄部掘削



堤防強化(粘り強い河川堤防)



大町ダム等再編事業



大河津分水路改修事業



信濃川中流遊水地群



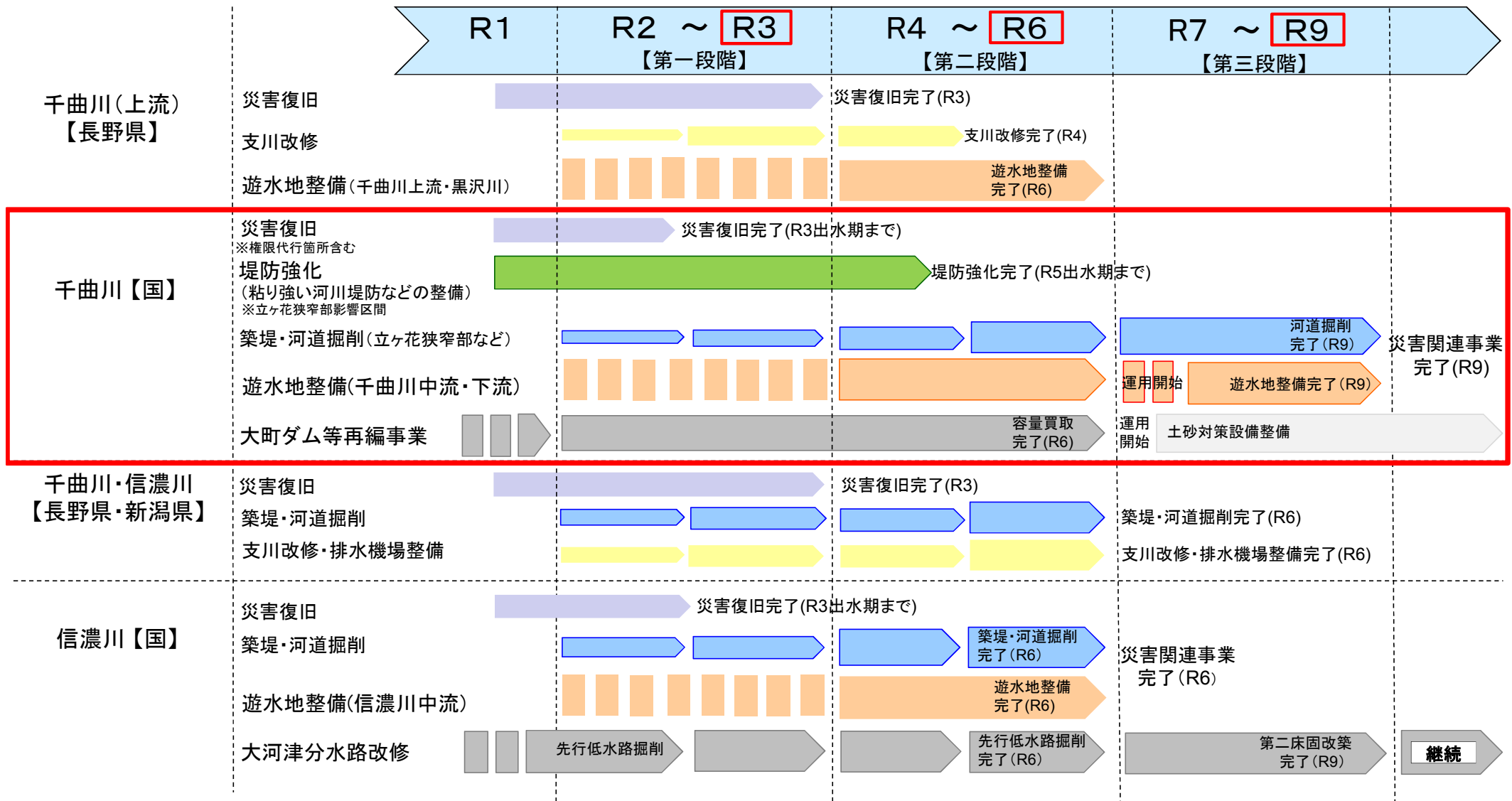
千曲川下流遊水地群



千曲川中流遊水地群

凡 例	
	流域界
	県境
	河川
	既設ダム(直轄)
	基準地点(高水)
	基準地点(低水)
	主要地点
	想定氾濫区域(国管理区間)
	大臣管理区間

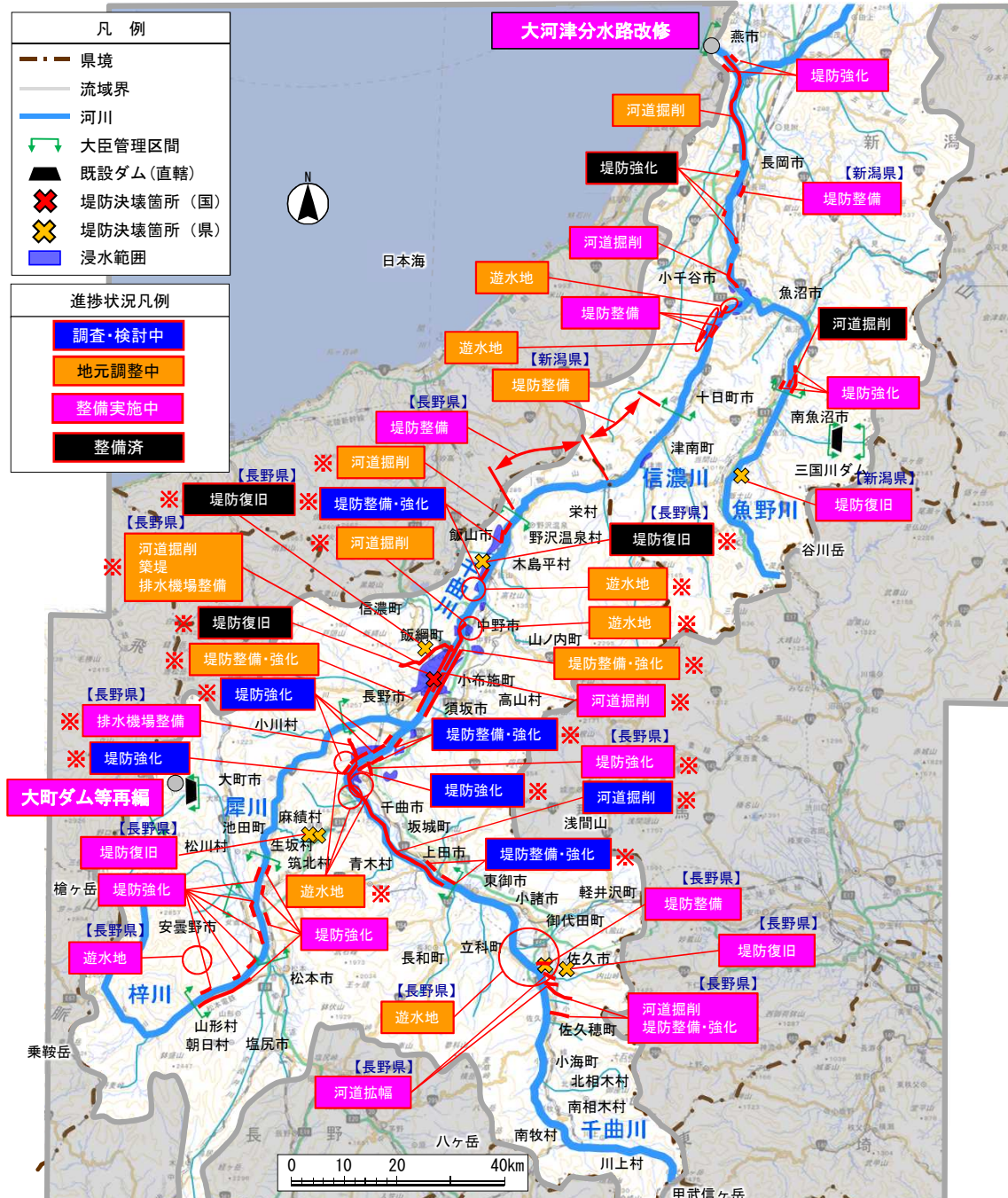
- 【第一段階(復旧)】 災害復旧を令和3年度までに完了(国(権限代行含む)は令和3年出水期まで、県は令和3年度)。並びに大河津分水路などの下流域の整備に応じた河道掘削(立ヶ花狭窄部など)を順次実施
- 【第二段階(復興)】 改良復旧である堤防強化(粘り強い河川堤防構造など)や遊水地、大町ダム等再編事業(容量再編)を完了
- 【第三段階(復興)】 遊水地、河道掘削(立ヶ花狭窄部など)を令和9年度完了



信濃川水系緊急治水対策プロジェクト進捗状況

～ 「日本一の大河」上流から下流まで流域一体となった防災・減災対策の推進 ～

【R2.9末時点】



○令和元年東日本台風により、甚大な被害が発生した信濃川水系において国、県、市町村が連携し、「**信濃川水系緊急治水対策プロジェクト**」を進めています。

○国、県、市町村が連携し、以下の取り組みを実施していくことで、信濃川本川及び千曲川本川の堤防で被災した区間で越水防止を目指します。

- ①被害の軽減に向けた治水対策の推進【河川における対策】
- ②地域が連携した浸水被害軽減対策の推進【流域における対策】
- ③減災に向けた更なる取組の推進【ソフト施策】

○令和2年度は、決壊箇所の本格的な災害復旧や、全川での河道掘削等の改良復旧、ため池等既存施設の有効利用（流域対策）、マイ・タイムラインの普及（ソフト施策）を進めています。

■河川における対策

全体事業費 約1,768億円【国：約1,227億円、県：約541億円】

災害復旧 約586億円【国：約214億円、県：約372億円】

改良復旧 約1,183億円【国：約1,013億円、県：約169億円】

事業期間 令和元年度～令和9年度

目標 【令和6年度まで】

令和元年東日本台風（台風第19号）洪水における
・千曲川本川の大規模な浸水被害が発生した区間等において越水等による家屋部の浸水を防止
・信濃川本川の越水等による家屋部の浸水を防止

【令和9年度まで】

令和元年東日本台風（台風第19号）洪水における
・千曲川本川からの越水等による家屋部の浸水を防止

対策内容 河道掘削、遊水地、堤防整備・強化

※四捨五入の関係で合計値が合わない場合がある。

■流域における対策

- ・ため池等既存施設の補強や有効活用
- ・田んぼダムを活用した雨水貯留機能の確保
- ・学校グラウンドなどを活用した雨水貯留施設
- ・排水機場等の整備、耐水化の取組
- ・防災拠点等

■ソフト施策

- ・「まちづくり」や住まい方の誘導による水害に強い地域づくりの検討
- ・高床式住まいの推進
- ・マイ・タイムラインの普及
- ・公共交通機関との洪水情報の共有
- ・住民への情報伝達手段の強化



長野市穂保地先の堤防決壊、
浸水被害状況



新潟県小千谷市内における
浸水被害状況

※計数については、今後の調査、検討等の結果、変更となる場合がある。

※次ページ以降詳細な進捗状況あり

■本対策箇所は主要箇所のみ記載しています。

■大河津分水路改修と大町ダム等再編事業は、プロジェクトと並行して継続実施する。

■本プロジェクトは、短期的(概ね5～10年)の達成目標であり、プロジェクト終了後も継続し、中・長期的に対策を講じる。

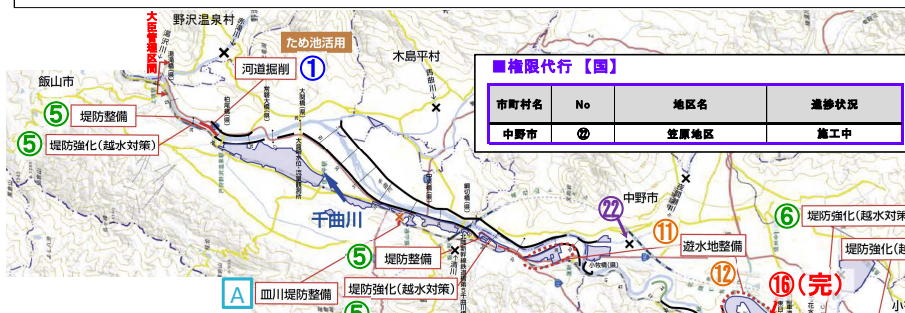
信濃川水系緊急治水対策プロジェクト進捗状況

～ 「日本一の大河」上流から下流まで流域一体となった防災・減災対策の推進 ～

【R2.9末時点】

○千曲川本川直轄管理区間(一部長野県の災害復旧及び改良復旧を含む)の整備進捗状況は以下のとおり。

○引き続き整備を行い、順次治水安全度の向上を図る。



■河道掘削【国】

市町村名	No	地区名	測量設計	地元説明	用地関係	工事
飯山市	①	飯山地区(戸狩秩手部含む)	○	○	不要	
長野市	②	立ヶ花秩手部	○	○	不要	
長野市小布施町須坂町	③	立ヶ花上流部	●	●	不要	○
長野市千曲市飯綱町上田市	④	千曲川上流部	○		不要	

●=済 ○=実施中

■災害復旧【長野県】

市町村名	河川名	進捗状況
野沢温泉村	千曲川他2河川	施工中:11箇所/11箇所
長野市	犀川他9河川	完了:8箇所/22箇所 施工中:14箇所/22箇所
上田市	神川他2河川	完了:10箇所/89箇所 施工中:79箇所/89箇所
須坂市	松川他5河川	完了:1箇所/21箇所 施工中:20箇所/21箇所
中野市	夜間瀬川他1河川	完了:2箇所/7箇所 施工中:5箇所/7箇所
千曲市	沢山川他1河川	完了:1箇所/4箇所 施工中:3箇所/4箇所
飯綱町	福沢川	施工中:1箇所/1箇所
小布施町	浅川	完了:1箇所/1箇所
高山村	松川他1河川	完了:1箇所/3箇所 施工中:2箇所/3箇所
飯綱町	荒馬川	施工中:1箇所/1箇所
山ノ内町	夜間瀬川他2河川	施工中:10箇所/10箇所

■堤防整備・堤防強化(治水対策)【国】

市町村名	No	地区名	測量設計	地元説明	用地関係	工事
飯山市	⑤	神岡・常盤地区(堤防整備)	○			
長野市	⑥	立ヶ花秩手部(堤防強化)	○	○		
長野市小布施町須坂町	⑦	犀川・福島地区(堤防整備)	●	●	●	○
長野市千曲市	⑧	松代・井ノ宮地区(堤防整備・堤防強化)	○			
上田市	⑨	墨分地区(堤防整備・堤防強化)	●	●	●	○
上田市	⑩	大屋地区(堤防整備・堤防強化)	○			

●=済 ○=実施中

【最近の動き】

<国>

被災直後
令和元年10月撮影(被災直後)

完了
令和2年5月撮影(完了)

箇所⑯: 中野市 栗林地区 (千曲川 右岸)

被災直後
令和元年10月撮影(被災直後)

施工状況
令和2年9月撮影(決壊箇所復旧完了)

箇所⑱: 長野市 穂保地区 (千曲川 左岸)

被災直後
令和元年10月撮影(被災直後)

施工状況
令和2年5月撮影(堤防護岸復旧完了)

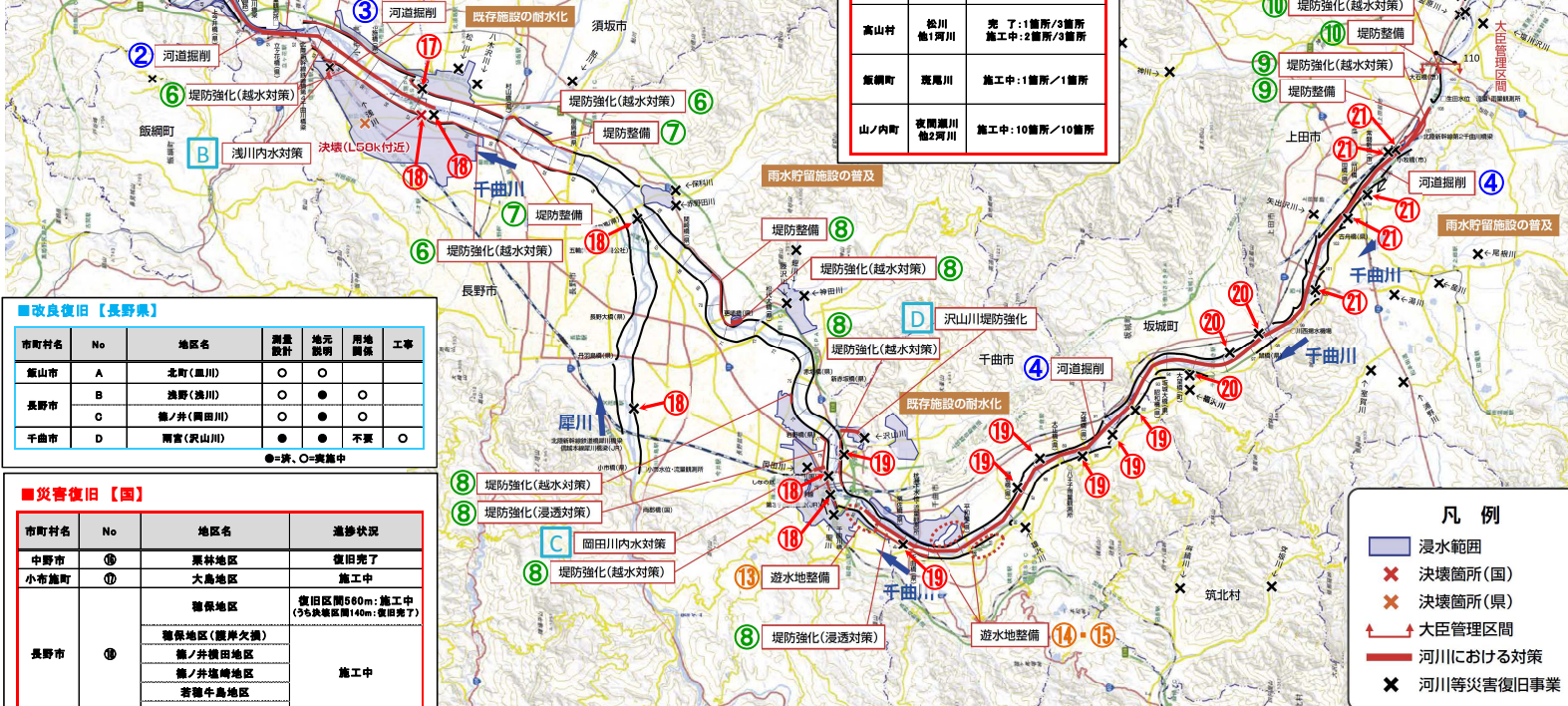
箇所⑳: 上田市 諏訪形地区 (千曲川 左岸)

<長野県>

被災直後
令和元年10月撮影(被災直後)

完了
令和元年12月撮影(完了)

箇所A: 飯山市 皿川(堤防完成)



■遊水地【国】

市町村名	No	地区名	測量設計	地元説明	用地関係	工事
飯山市	⑪	蓮地区(候補地)	○	○		
中野市	⑫	上今井地区(候補地)	○	○		
長野市	⑬	犀川地区(候補地)	○	○		
千曲市	⑭	雄生地区(候補地)	○	○		
千曲市	⑮	平和橋地区(候補地)	○	○		

●=済 ○=実施中

※遊水地の位置、対策内容については、今後の調査・検討等を踏まえ、検討する。



<千曲川・犀川 流域>

まちづくり、ソフト対策の取り組み ～減災に向けた更なる取組の推進～

住民の避難行動に関するアンケート調査の実施【ソフト対策】

- 住民の確実な避難行動に結びつく情報伝達のあり方を検討するため、令和元年東日本台風(台風第19号)における住民の避難行動に関するアンケート調査を実施
- 国・関係機関で構成される情報提供検討部会にて、調査結果を報告し、対応策について検討

住民の避難行動に関するアンケート調査結果から 抽出された課題と対応策

アンケート項目	アンケート結果から見た課題	対応事項等
平常時からの備えや災害危険性の認識について	洪水ハザードマップの認知と理解度の向上	防災教育や防災知識の普及に関する取組について、引き続き推進 「水害の記憶と伝承」 「マイ・タイムラインの普及」等
避難行動の状況について	避難勧告の発令で、避難行動を開始する意識の向上	避難情報の意味や防災行動の理解を得る取組について、引き続き推進 「マス・メディアとの連携」 「緊急速報メール」等
	大雨特別警報の解除後も河川の危険度が高い場合の周知	河川の危険度が高い場合は、今後の見通し等を説明 「大雨特別警報の警報等への切替時の記者発表」 「洪水予報(臨時)の発表」等
災害時に見聞した情報について	河川情報等のさらなる認知と確認	河川情報等の認知度向上の取組について、引き続き推進 「川の防災情報」 「川の水位情報」等



情報提供検討部会の開催状況

マイ・タイムラインづくりの支援と自治体の取り組み状況【ソフト対策】

<千曲川河川事務所での取り組み>

- 自分自身がとる避難行動計画を整理したマイ・タイムラインについて、自治体職員向けの講習会を実施することで作成を支援
- 地域住民向けの講習会も引き続き実施していく予定



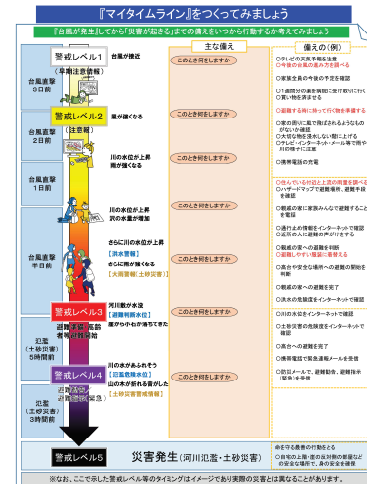
坂城町職員向け講習会(令和2年2月6日)

■コミュニティタイムラインの検討を開始(長野市)

- 千曲川河川事務所、市、地域住民の協働により、地域単位での避難行動計画を作成するコミュニティタイムラインを令和2年10月13日より検討開始予定

<流域自治体での取り組み>

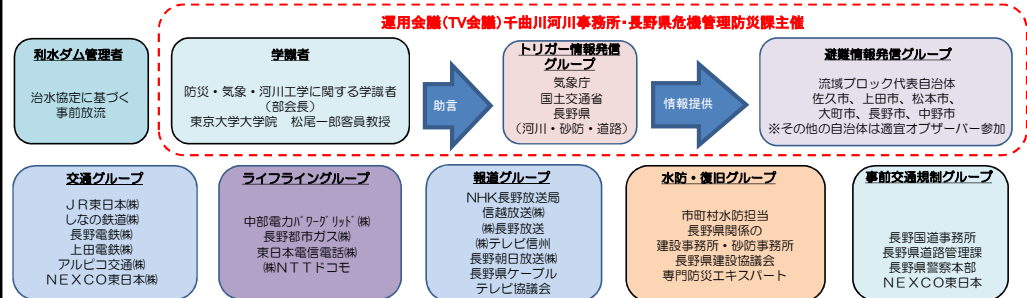
- 流域の自治体(中野市、長野市、安曇野市等)では独自のマイ・タイムライン作成の取り組みが行われている



長野市作成のマイ・タイムライン記載例(長野市HPより)

流域全体で危機感の共有を開始【ソフト対策】

- 千曲川流域に着目した「千曲川・犀川流域(緊急対応)タイムライン」を開発機関と検討しており、令和2年9月より試行運用開始
- 台風等の接近状況や河川水位の状況に応じて流域警戒ステージⅠ～Ⅳを設定し、流域全体で危機感を共有する体制を構築



新たに設定される流域警戒ステージ

時期区分	防災行動の目標
流域警戒ステージⅠ	災害の危険性に注意を向ける
流域警戒ステージⅡ	防災対応の方針を決定する
流域警戒ステージⅢ	防災対応を開始する
流域警戒ステージⅣ	上下流を意識した防災対応を実施する



千曲川・犀川流域(緊急対応)タイムライン検討部会実施状況

長沼地区河川防災ステーション【流域における対策】

- 洪水等発生時の河川管理施設保全活動及び緊急復旧活動の拠点として「長沼地区河川防災ステーション」を国と市で計画
- 施工範囲や平常時の利活用等の詳細については、今後地域住民の意見を踏まえて検討していく



地元説明状況



長沼地区河川防災ステーション案(縦断的に盛り土を配置した案)